

南丹市教育委員会会議録

平成 27 年第 12 回定例会

(平成 27 年 12 月 16 日)

平成27年南丹市教育委員会第12回定例会会議録

1. 日 時 平成27年12月16日(水)
開会 午後3時00分 閉会 午後5時00分
2. 場 所 南丹市教育委員会議室
3. 付議事件 別紙議事日程のとおり
4. 招 集 者 委員長 林 昌 明
5. 出席委員 委員長 林 昌明
委員長職務代理 武田 義史
委 員 高屋 毅史
委 員 吉田 尋子
教育長 森 榮一
6. 欠席委員 な し
7. 事 務 局 教育次長 岸本 薫
教育参事 後藤 昌則
教育総務課長 寺田 成樹
学校教育課長 山内 紀子
社会教育課長 中川 勇夫
8. 傍 聴 人 な し

午後3時00分開会

日程1

委員長が平成27年南丹市教育委員会第12回定例会の開会を告げる。

日程2

委員長から会議録作成者に寺田教育総務課長を指名する。

日程3 報告事項

- (1) 主な行事報告等

(教育長)

- 11月18日に、園部公民館を会場に南丹市人権教育講座(第3講)を開催し、三重県人権センターの味岡一博氏から「謂れなき差別(部落差別)は、どのようにしてつくられたのか」と題して講演をいただいた。約130人の参加者それぞれが、1872年の解放令以降も差別が残されてきた歴史的経緯と水平社宣言が策定されるまでの歴史的背景を踏まえた講演を受け、科学的根拠に基づく考え方の大切を再確認する研修機会となった。
- 11月21日に、園部公園陸上競技場にて「第11回京都丹波キッズふれあい駅伝」が開催された。市内全小学校チームが参加しそれぞれ健闘した。
- 11月24日に、人権啓発推進協議会の主催による第3回主任人権啓発推進委員及び人権啓発推進委員研修会が園部公民館にて開催され、近畿大学人権問題研究所の奥田均氏から「「同対審」答申50年と、今問われていること」と題した講演がなされた。同和対策審議会答申から50年を経た今なお、この答申は部落問題の解決、人権行政の推進に対する基本認識を問い続けていることを再確認する研修機会となった。11月27日にも日吉町生涯学習センターにおいて、同じ内容での研修会が開催された。
- 11月29日に、第3回南丹市合唱フェスティバルを園部公民館で開催した。市内から9団体が参加し、約200名の来場を得る中で、各団体の練習成果とつながりを発表いただく場となった。
- 12月4日に、南丹市コミュニティー・スクール導入推進研修会を実施し、市内幼小中の管理職の他、関係職員が参加し、新潟県上越市にコミュニティー・スクール導入経歴を持たれる文部科学省CSマイスターの大山賢一氏から、CS導入に向けた具体的取組や経過を踏まえた講演を受け、CS導入に向けての多くの示唆を得た。
- 12月8日に、市校園長会議を開催し、年末年始を控え教職員の服務規律の確保について指示するとともに、この間の「電話照会による差別事象」も踏まえて、改めて「毎日が人権の日」という意識をもって人権教育を年間通して継続的に取り組むことの大切さについて共通理解を図った。
- 12月15日に、南丹市社会教育委員会会議を開催し、この間、答申を受けた社会教育施設の在り方答申に沿って施設整備に係る協議がされた。

(2) 南丹市教育委員会の後援承諾について

(事務局)

資料に基づき報告

日程4 議事

議案第42号 南丹市立幼稚園保育料条例施行規則の一部改正について

(事務局)

平成28年度実施の市立幼稚園及び市立保育所における通園バス無償化に向けた規則整備としての規則改正について説明。

[質 疑]

(高屋委員)

本議案内容である通園バス補助の考え方は、現行の私立幼稚園就園費補助金に含まれているか。

(事務局)

国の要綱であるが、通園バスに係る補助メニューは含まれていない。市の要綱においてもメニューはない。

[採 決]

議案第42号について委員長から委員一人一人に諮り、全員一致での承認を確認する。

議案第43号 南丹市立小学校及び中学校の管理運営に関する規則の一部改正について

(事務局)

現行の規則における、長期休業期間を一部見直すことにより、学校運営上での問題点の解消を図り、より一層円滑かつ効果的な学校運営に資することをねらいとした規則改正である旨について説明

[質 疑]

(武田委員)

事務局説明にあった、現行規則における第2学期の学校休業開始日の問題点は何か。

(事務局)

年末遅くまでの授業日の設定により、児童生徒の学習意欲の低下が見られるという学校現場の声があることもあるが、何よりも休業中の中3生徒に係る進路関係事務が行えないなどの問題点である

(吉田委員)

教職員のサービスとも関わるので、休業期間と関連して現在取り組まれている土曜活用の実施状況や国や府の考え方はどうか。

(事務局)

市内小中学校とも年間平均して5日間程度の取組状況にある。国の事

業指定を受けている学校や府の研究指定校においては年間8～10日程度である。

教職員の勤務については、いずれも適切かつ適正に振替がなされている。なお、国や府においては、土曜活用を地域の実情や現場の状況に合わせて、地域とともにある学校づくりの一環として推進していく方向である。

[採 決]

議案第43号について委員長から委員一人一人に諮り、全員一致での承認を確認する。

＝議案第44号は、南丹市教育委員会規則の規定により、非公開案件であること及び会議録非公開であることを確認し審議に入る。＝

議案第44号 府費負担教職員の人事内申について

(事務局)

人事内申について資料により説明

[質 疑] なし

[採 決]

議案第44号について委員長から委員一人一人に諮り、全員一致での承認を確認する。

＝議案第45号は非公開とする議案であることを確認の上、審議に入る。＝

議案第45号 南丹市教育委員会事務局職員の任免について

(事務局)

議案第44号の内申事項に関連した事務局職員の任免について資料により説明

[質 疑] なし

[採 決]

議案第45号について委員長から委員一人一人に諮り、全員一致での承認を確認する。

＝以降の議案等については非公開を解いて審議に入る。＝

その他

市政懇談会を終えての教育委員会の総括について

(事務局)

資料に基づき、この間市内12会場で実施された市政懇談会での意見等を踏まえた総括について説明

日程5 その他

○その他

- ・この度の「電話による同和地区照会」差別事象について報告
- ・12月中に出せろう園部公民館及び八木公民館の耐震診断結果（速報値）を踏まえた今後の対応予定について説明

○主な行事予定等

- ・年末年始の予定について
- ・平成28年南丹市成人式について

(事務局)

資料に基づき、主な行事予定を説明

[次回定例会について]

(事務局)

次回定例会の日程については、他の行事を踏まえ、1月20日を軸に調整できればと考える。

(委員長)

次回の日程について、ただ今の事務局の意向を踏まえ1月20日としていきたいかどうか。

(委員)

*委員長から各委員一人一人に諮り、全員一致での同意を確認する。

(午後5時00分閉会)

南丹市教育委員会会議規則第19条第2項の規定により、ここに署名する。

平成 年 月 日

南丹市教育委員会委員長

南丹市教育委員会委員長職務代理者

南丹市教育委員会委員

南丹市教育委員会委員

南丹市教育委員会教育長

(会議録調製者)

南丹市教育委員会教育次長
